



2022年4月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本郷町2-11
THE YMCA 神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上真二
編集人/松森正樹
印刷/有わかばやし印刷

年間聖句 「あなたに平和、あなたの家に平和、あなたのものすべてに平和がありますように。」 サムエル記上 25章6節



2021年7月3日に開催されたYMCA宮台ゼミ
「社会という荒野を仲間と生きる～イエス編」にて

宮台真司さん

*社会学者・映画批評家、東京大学教授

*YMCA宮台ゼミや余島コースフォームを通して世界中の若者へ、神戸YMCAリーダーゼミや職員研修などで若い世代の職員やボランティアの方へ、大切なメッセージを発信し続けていただいています。

ハイブリッドという車の駆動形式があります。ガソリンエンジンと電気モーターを搭載します。新車としては10年以内に絶滅します。先進国から中国までEV化が加速するからです。EVは電気モーターだけ。欧州は3割近くの新車がEVです。日本は3%未満。日本も2割だとされるのは国際的にはEVとは認められないハイブリッドを数えるからです。

これは既得権益の大きなシフトを伴う産業構造改革ができない日本人の劣等性を象徴すると各所で語ってきました。日本人には社会の全成員の良きプラットフォーム(公)に貢献して子々孫々に残さなければ...というパブリックマインド(公共心)がなく、所属する集団(内集団)での地位にしか関心がありません。滅私奉公の公は内集団に過ぎません。

この劣等性は社会心理学者の山岸俊男が統計で実証しました。近代社会は大きく複雑です。それを支えるには、普遍的(どこにも通用する)「真理」と、大きな全体を支えようとする「価値」(公共心)が必須です。でも「沈みかけた船の座席争い」をする日本人は座席にしがみつくだけで「価値」を欠き、座席にしがみつくために「真理」を曲げます。

でも問題は複雑です。第一に、他の先進国でもインターネットによ

特別寄稿「ここではないどこか。いまではないいつか」というハイブリットへ

る「見たい世界に籠る」フィルターバブルで分断が進み、近代を支えてきた「真理」と「価値」が失われつつあります。第二に、トヨタが高性能なEVを作る能力を持ちつつハイブリッドに執るのは、愛知県の地場産業として「裾野」を支えなければ...という地域の公共心に基づくからです。

だから豊田章男社長を尊敬しています。いざとなればいつでもEVシフト出来る用意を整えつつ、可能であるうちは地域の人々を支えようとするからです。日本には先程の劣等性ゆえに多額の税金を使ったエネルギーシフトのインフラ構築がなく、国内ではEV化しようがありません。ちなみにトヨタは海外向けのEVフルラインナップを既に揃えました。

そこに「なりすまし pretending(建前)」「なりきり becoming(本音)」のハイブリッドがあります。オールEV化が不可避の趨勢だと心得て準備万端でありつつ、地域の人々を支えるべくガソリンエンジンを捨てないという構えを崩さないのです。今話したのは他の場所で話したことがない僕の本音。トヨタ批判は一定の視座からする建前に過ぎません。

これら二重性を、僕の映画批評では「ここ」に閉ざされつつ「ここではないどこか」に開かれた構え、「いま」に閉ざされつつ「いまではないいつか」に開かれた構えとして擁護してきました。そうした二重性を擁護する数々の映画を宮台ゼミ生でもある神戸YMCA阪田晃一氏がYMCAの皆さんに紹介してきました。ここでは新しい映画を紹介します。

金子雅和監督『リング・ワンダリング』(2022年)。タイトルは「堂々巡り」という意味です。ゲームで知られたループ・モチーフの、SFに見えないSFです。漫画家を目指しつつ工事現場で働く(二重性!)主人公が、過去にリープして戦中の少女とその家族に絵を手渡し、それで少しだけ少女と家族のミクロな歴史が変わる。とても素敵な寓話です。

「いま」に閉ざされた主人公がこうした逸話を通じて「いまではないいつか」に開かれます。それを代理体験した観客も同じく開かれて「解放」されます。「見える」現在には「見えない」過去の蓄積と未来の可能性が本当は重ね焼きされています。実は日本でも1960年代とゼロ年代にそうした「時間の重ね焼き」を強く意識される時代がありました。

2020年代のいま三たび「時間の重ね焼き」を意識する時代が訪れています。その意識は海外とも共鳴します。シーロ・ゲーラ総監督『グリーン・フロンティア』(Netflix、2020年)、アレハンドロ・ランデス監督『MONOS』(2021年)が典型です。かかる意識がいま何によって開かれ、今後何を開いていくか。皆さんに深く考えてほしいことです。

【YMCAピンクシャッター】



一人ひとりが自分らしく。

【パパとあそぼう】



みんなで体を使ったふれあいあそびをした後に、ポットン落としの工作を行いました。

【第24回中・西日本YMCAユースバスケットボール大会】



1月22日(土)～23日(日)の2日間にわたり熱戦が繰り広げられました。

Pick up

2022年度がスタートします

「あなたに平和、あなたの家に平和、あなたのものすべてに平和がありますように。」

サムエル記上 25章6節

神戸YMCAはイエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神に学びつつ、多くの子どもたちやユース、世代を超えた地域の人たちが集い、すべての「いのち」が輝く活動に取り組んできました。しかしながらこの2年間はコロナウイルスによる影響を大きく受け、新たな社会課題への対応や、テクノロジーを用いた新しい価値の創出に目を向けるなど、ポジティブネットのある社会の創造を模索してきました。この闇ともいべき状況の中で、ミッションというひとつの光を持ち分断の時代に立ち向かうために、YMCAの「A」(アソシエーション)が示す、人々を結集してきた歴史を振り返りながら、適応型、問題解決型の活動を進めていく必要があります。右に挙げる日本YMCA同盟中期計画の5本柱を見据えて、キリスト教使命を基盤に価値を高め、社会に必要とされるYMCAを目指していきます。

Positive well-being
Youth Empowerment
Technology for social inclusion & diversity
Partnership
Change Agent

さて、2022年度の年間聖句は旧約聖書サムエル記から選ばれました。この年間聖句はミッション委員会で選定しており、今回は職員だけでなく常議員や各法人の理事、評議員、監事の皆さまからも候補を募りました。下記の「年間聖句に込められた願い」をお読みください。2022年度はこの聖句を掲げ、神戸YMCAの全ての活動がポジティブネットを広げ、希望ある豊かな社会を創り、社会に必要とされることを目指していきますので、皆さまのご支援、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

神戸YMCA 会長 中道 基夫
 総主事 井上 真二

年間聖句に込められた願い

コロナ禍の長期化に伴って“疲れ”を感じている方や“不安”を覚えている方がたくさんおられる今、この聖句は私たちYMCAが皆さまに伝えたい想いでもあります。この“平和”と訳されているヘブル語の「シャローム」は、口語訳聖書では“平安”と訳されており、どちらの日本語でもどなたにも受け入れられる箇所です。ミッション委員会では職員や役員の皆さまから推薦をいただいた中から、この聖句を選定しました。

そこで、この聖句を推薦された岩井義矢さん(神戸YMCA職員)に、その想いを聞きました。

現在の社会には「誰かが決めたから」「誰かのせい」「誰かの判断」「誰かの責任」と考える風潮がひろがっているように感じています。コロナ禍に限らず、自身を守りたい、自身の正義を貫きたいという気持ちが強くなりすぎると、誰かと向き合ったときに自身の正義を盾にし、結果的には争いになってしまうのではないかと思うのです。

この聖書の箇所は、ダビデとサウルとの関係性に続いて語られた言葉ですが、サウルの敵対的な対応に対して、ダビデは絶えず謙虚に受け止めている姿があります。

YMCAも日々、多様な社会的課題や、社会的な必要に寄り添う活動を行っています。ただ「自分たちにとって」「YMCAにとって」になり過ぎないように、それよりも相手のことをリスペクトし、その中でこそ「あなたに平和」、さらに「あなたの家に平和」、そして「あなたのものすべてに平和」があるようにと願い、祈り、アクションを起こす団体でありたいと思います。その結果がまわりまわって自分たちに返ってくる社会に変化していくことになると思います。



諦めずに、一歩前へ ウエルネスセンター

北京オリンピックが終わりました。心を揺さぶられるシーンがたくさんありました。少し古い話ですが、1998年の長野オリンピックでのエピソードを紹介します。

クロスカントリースキー界のレジェンド、ビョルン・ダラー選手がクロスカントリースキー10kmの競技で優勝しました。メダルセレモニーが始まる中、最下位のケニアの選手がゴールに向かっていました。するとダラー選手はフィニッシュラインでその選手を抱きとめ、「君こそ真の勇者だ」と健闘を称えたそうです。

オリンピックのモットーである「より速く、より高く、より強く」は、高校の校長を務めていたドミニコ会のアンリ・ディドン神父が、高校の陸上競技大会で述べた言葉だそうです。他人と競うのではなく、今の自分を超えていこうと説くこの言葉は、よりよい人間になろうと呼びかけているようにも思えます。

最後まで諦めないこと、自分を超えていくことは、決して簡単ではありません。ウエルネスセンターでは、メンバーの皆さまのご健闘をこれからも見守っていきます。



卒業旅行 神戸YMCA学院専門学校日本語学科

来日時はすでにコロナ禍。日本での留学生活は、やりたいことができない、行きたいところへ行けない、つながりたいけどつながれないことが多くあったはずで、不安を感じることも多かったに違いありません。卒業旅行はなんとか実施したいと考え、予定していたUSJを、雪遊びと和食(懐石)を楽しむプログラムに変更しました。

貸切バスで六甲スノーパークへ。初めて見る雪、初めてのそり滑りに、学生たちはずっと歓声をあげていました。その後、新神戸ANAクラウンプラザホテル内の「なだ万」さんで、緊張しながら懐石をいただきました。本来は、お茶を頂く前に食べる料理で、身体を温め空腹を和らげる程度のものであって……。学生には少量が足りなかったようです。

各施設のお支えのおかげで、感染予防対策をしっかりと講じた環境下でのプログラムとなりました。卒業を前に、みんなで楽しく過ごすことができホッとしています。



R E P O R T

西宮YMCA保育園

未来を見据えてこどもの成長を願う

保育園では、1日、1週間、1カ月、春夏秋冬、1年、さらに入園から就学までの6年間をひとつの時間の単位として、それぞれの単位の保育計画(カリキュラム)案をクラスごとに作り、実施し、評価して、次の計画につなげることを繰り返しています。

しかしそれ以上に忘れてはならないのは、人の一生という単位の中で、保育園の生活がどんな意味を持ち、だから何をするのかという思いと、こどもたちが大人になったときに社会がどのようになっている、そこで生きていくためにどんな力が必要になるのかという、長

い時間、未来を見据えて今を考える視点です。

この2年間ではできなかったこと、前と違うことばかりに心を奪われがちでしたが、こどもの表情、成長を見て、何ら変わらない成長の強さを感じました。これまでと比べて右往左往していたのは大人のほうかもしれません。次の1年も、こどもの持っている力を信じ、ともに喜び、見守っていくよう、保育者、保護者と確認し合いながら歩んでいきます。



西宮YMCA

放課後キッズルーム事業

西宮地域でのYMCA活動は、遡るところ戦後に始まったワイズメンズクラブ(国際的なボランティア団体)の活動が主体の地域にYMCAをという願いから始まり、1975年に「お庭の幼稚園」を譲り受けて地域活動が行われるようになりました。そうした先人たちの思いを受け継ぎ、その後、新たに与えられた拠点で地域の子育て支援やこどもの居場所づくりに取り組むようになり、また、保育園や学童保育の活動のために地域に出かけるようになりました。そうした実績を踏まえ、2022年度春から西宮市

立香榎園小学校における放課後子ども教室(保育要件にかかわらず、全児童のための放課後の居場所事業)「香榎園放課後キッズ」の活動を西宮市から委託を受け、実施することになりました。

放課後キッズとは、平日の放課後(授業後～17:00)と長期休業中の8:30～17:00、学校内スペース(多目的室・図書室・運動場)において、放課後キッズコーディネーターと見守りスタッフがいる中で、こどもたち自身の判断で遊びや学びができる場を常設的に提供する事業です。登録すれば参加は自由で、

いつ来ても、いつ帰ってもOKです。

香榎園小学校は児童数が1,000名を超えており、たくさんのこどもたちが放課後の居場所として参加するのではないかと期待しています。同校では「育成センター」「子育てひろば」の運営もYMCAが行っており、地域の方々と連携しながら地域とともにこどもの育ちを考える・進めて行く活動を行っていきたく思います。事業の状況などは随時、報告させていただきます。

あかしこども広場

にこにこ保育ルームのはたらき

あかしこども広場の一時保育ルーム「にこにこ保育ルーム」は、2017年1月にスタートしてから丸5年が経ち、この5年間に延べ21,720名のこどもを保育しました。保護者の仕事や通院、学校行事、育児疲れ・ストレス解消のほか、市役所の手続きや兄弟の乳幼児健診、「こどもが行きたがるので」といった理由も。開所は毎日9:00～17:00ですが、利用時間は1時間から8時間まで様々です。

“一時保育”ですので、毎日が慣らし保育1日目のような、大泣き、大騒ぎです。昼食の時間は決まっていますが、積み木やままごと、お絵描きなど好きな遊びをして自由に過ごし、遊びたくなければ遊ばなくてもOK

です。0・1歳児や小さいこどもが多い日は1日中入れ替わりで泣いているこどもがいたり、4・5歳児も多い休日のある日はカーリングごっこが始まったり、顔見知りになった数人で長くつなげた紙と一緒に絵を描いたり…。職員はこどもたちが気持ちよく楽しく過ごせるように、一緒に遊んだり、関わることを心掛けています。

今日保育したこどもは、次にいつ来るのか、来ないのかもわからないですが、その日その時間を大切に、こどもが教えてくれることに目を向け、耳を傾け、保護者の方が安心して利用できるようこどもを見守っていきます。



こくさいのまど

神戸YMCA学院専門学校2021年度学生支援について

2021年度も、関係企業や行政など様々な団体が、神戸YMCA学院専門学校に在籍する留学生へ、お米やインスタント食品、衛生用品などをご提供くださっています。

留学生の母国においてもウイルスが猛威を振っており、学生たちは仕送りを十分に得られず、学費と生活費のためにアルバイトをし、食費を節約しながら将来の夢に向かって勉強を続けています。学生たちにとって、これらの継続的な支援は大きな支えになっています。

皆さまからの温かいご支援は、YMCAポジティブ

ネットを感じさせるもので、共に生きる人を育てることになると信じています。この場をお借りして、心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

<2021年度ご支援企業、団体などご協力先>(順不同)
国際ロータリー第2680地区ロータリーアクト、日本キリスト改革派神戸長田教会、日本基督教団東神戸教会、生活協同組合コープこうべ、株式会社長谷工コーポレーション、ライフ&シニアハウス神戸北野、コストコホールセールジャパン株式会社、株式会社ドリーム産業、兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課、神戸市こども家庭局こども未来課、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部、神戸ポートワイズメンズクラブ、神戸学園都市ワイズメンズクラブ、芦屋ワイズメンズクラブ



ご紹介させていただきました関係企業や行政など様々な団体だけでなく、個人の皆さまからも多くのご支援をいただいています。心から感謝申し上げます。

キャンプ連載「私たちはどこから来て、どこへ行くのか？」

#07 映画『シン・レッド・ライン』に見る内外反転の起爆剤(後編) キャンプディレクター 阪田晃一

今回は映画『シン・レッド・ライン』を通して、「外」だと思っていたものが自己の「内」にあるという視座の転換を「内外反転」として論じました。

キャンパーは「社会(内)」からキャンプという「世界(外)」にやってきて、そこで“キャンプディレクター”という不思議な存在に出会います。はじめキャンパーは、同じような姿形をしたその存在を、自分たちと同じ側(内側)の存在だと思うでしょう。しかしキャンプ生活に慣れているその存在の、「場」に付く様子や道具の使い方、カヌーを漕ぎ、キャンプファイヤーで火を起し、そよ風のように移動し、人々に語りかける姿に、次第に惹き寄せられます。「境界的」存在によって外へと連れ出されるのです。

キャンパーは内面的にも、内外反転に向けて徐々に開かれていきます。経験上、キャンプで4日間以上を仲間と共に過ごすと、「日常」と「非日常」が逆転します。キャンプ最終日の夜、「明日のこの時間、もうここには居ないんだ」と驚くと、遊

んでは帰ったキャビンのこと、何気ないご飯やお風呂の時間、一緒になにかを「やり通した」仲間たちとの戯れが、奇跡のように浮かび上がってくるのです。

暗がりにカウシルファイヤーの火が見えます。静寂と薪を弾く音が聞こえます。仲間がすすり泣く声と自分の高鳴る鼓動が聞こえます。生者と死者の声が押し寄せてきます。この世界からの「訪れ」によって「力」が湧き起こってくるのを感じます。誰もがその場に溶け込んでいく喜びを味わいながらも、ずっと居続けられないことをよく知っています。

この「力」を得れば、社会に飲み込まれないで生きていけます。よく考えてみてください。僕たちが憧れた先達のキャンプディレクターたちは、そもそも社会の時空では生きていませんでした。内には「キャンプの時空」を秘め、徹底的になりすまし、「内外反転の起爆剤」として密かに社会に存在していたのです。

感謝・寄附

(敬称略、順不同) (前号掲載以降～2/20現在)

寄附

片岡 尹子、岩沖 富子、島田 恒、松森 正樹、荒木 裕和、中山 豊美、高波 碧、長谷川 友美、池田 麻梨子、日本キリスト教団神戸教会、学園都市YMCAキリスト教集会(丹羽牧師)

国際協力募金

小川 光夫、中野 ひな、杉原 妙江子、うどん な也、ボンヌール写真室、株式会社神戸川工務店、株式会社ウイング、株式会社サンビルダー、学校法人啓明学院、学校法人頌栄保育学院 頌栄幼稚園、社会福祉法人頌栄会 頌栄児童館、社会福祉法人光朔会 オリンピア オリンピア神戸北保育園、幼保連携型認定こども園 松蔭おかもと保育園、幼保連携型認定こども園 あゆみ幼稚園、聖ミカエル幼保連携型認定こども園、神戸YMCAベルクワイアー(阿部 望)、神戸ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、神戸西ワイズメンズクラブ、さんだワイズメンズクラブ、神戸学園都市ワイズメンズクラブ

この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。感謝をもってご報告します。

イースター早天礼拝

この早天礼拝は、1922(大正11)年4月に諏訪山金星台でもたれた復活節早朝讃美礼拝から始まったものです。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2020年、2021年と開催が叶えられませんでした。今年初の試みとしてオンライン(Zoom)で開催します。それぞれの場所にあっても、共にイエス様のご復活をお祝いいたしましょう。どなたでもご参加いただけます。

日時 2022年4月17日(日)8:00~9:00

メッセージ 與賀田 光嗣 先生
(日本聖公会神戸聖ミカエル教会垂水伝道所)

【申込不要】こちらのURL もしくは
二次元バーコードからご参加ください。
<https://bit.ly/3sUWLx8>



※初めてZoomをお使いの場合は、このURLをクリックするだけで自動的にダウンロードが始まりますが、事前にZoom公式ホームページからダウンロードされることをお勧めします。

神戸YMCA創立記念礼拝

今年で神戸YMCAは創立136年を迎えます。今回は三宮会館にお集まりいただく参集形式を予定しています。礼拝後には、創立者に思いを馳せ、社会の回復に仕えるYMCAのあり方を共に語り合いたいと思います。ただし、新型コロナウイルスの感染状況により、形式や一部内容を変更させていただきます場合があります。

日時 2022年5月7日(土)
15:00~17:00(14:30開場)

会場 神戸YMCA三宮会館

内容 【第1部】メッセージ
岩野 祐介 先生
(関西学院大学神学部教授)
【第2部】グループディスカッション

【お申込み】こちらのURL もしくは
二次元バーコードよりお申込みください。
<https://bit.ly/3sSUanE>



神戸YMCA大会

神戸YMCAに関わる人たちが一堂に集まり、世代を超え、これからの歩みを確認、将来に向け語り合い、楽しく喜びがあふれる1日とすることを願い、神戸YMCA大会を行います。以下の通り、開催に向けて計画を進めていますので、ご予定いただき、是非ご参加ください。なお、総会はこの神戸YMCA大会の中で開催いたします。

日時 2022年6月25日(土)

会場 神戸YMCA三宮会館

- 会場参加型とWEB参加型とのハイブリッドでの開催。
- 新型コロナウイルスの感染状況により、実施形式を変更させていただきます場合があります。
- 内容につきましては、改めてご案内いたします。

【お問合せ】 神戸YMCA本部事務局 TEL.078-241-7201 Eメール info@kobeymca.org

神戸YMCAの使命(日本YMCA基本原則)

- イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学びます。
- すべての人びとの全人的な成長を願い、いのちを守り育てます。
- 人権を守り、喜びと痛みを分かちあう社会をめざします。
- 世界の人びとと共に、平和の実現に努めます。

神戸YMCAの願い(神戸YMCA中期計画2020)

すべての「いのち」が光り輝くように、これを守り育てます。そのための活動に世代を超えた市民の参加を求め、その活動を通して新しいコミュニティを創造します。

ファミリーウエルネスセンター
ランゲージセンター
専門学校
西宮YMCA
余島野外活動センター
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)
国際・奉仕センター
ウエルネスセンター学園都市
西神戸YMCA
神戸YMCA高等学院
YMCAおひさま

☎078(241)7202
☎078(241)7204
☎078(241)7203
☎0798(35)5987
☎0879(62)2241
☎078(241)7216
☎078(241)7204
☎078(793)7401
☎078(793)7402
☎078(793)7435
☎078(793)9077

西神南YMCA
須磨YMCA
YMCA保育園
西宮YMCA保育園
西神戸YMCA保育園
神戸学園都市YMCAこども園
神戸YMCAちとせ幼稚園
YMCAちとせ保育ルーム
西神戸YMCA幼稚園
西宮つとがわYMCA保育園
あかしこども広場
学園都市YMCA保育ルーム

☎078(993)1560
☎078(734)0183
☎078(794)3901
☎0798(35)5992
☎078(792)1011
☎078(791)2955
☎078(732)3542
☎078(786)3821
☎078(997)7705
☎0798(26)1016
☎078(918)6355
☎078(794)3045

